

(取組の概要)

1 背景・ねらい

家庭学習の習慣が定着していなかったり、学習が遅れがちであったりする生徒に対して学習支援を行うことで、学習習慣を身に付けるきっかけの場とする。また、学習意欲のある生徒に学習の場を提供する。さらに、生徒に勉強を教える学習支援員を募集し、指導・育成することで、地域の教育力の向上につなげる。

2 対象校・対象者

市内在住・在学の中学生及び高校生

3 実施教科

全教科（ただし工作や習字は除く）

4 実施場所

市民活動センター（中部地区会場）
カリヨンハウス（北部地区夏季会場）

おかよし交流センター（北部地区冬季会場）

5 実施の形態

生徒が自ら持ちよった課題を自主的に行い、
質問がある場合は、学習支援員からアドバイスを受ける。

6 実施日・回数
実施時間帯

【夏季】令和3年8月3日（火）～8月26日（木）までの11日間
（月・土・日曜日と8月10日（火）～13日（金）を除く）

午後1時30分～午後4時30分まで

【冬季】令和3年12月24日（金）及び令和4年1月5日（水）～1月6日（木）
まで3日間

午後1時30分～午後4時まで

7 登録人数

【夏季】83名

【冬季】32名

8 参加人数(平均)

【夏季】平均13名（1日・1会場あたり）

9 コーディネーター
等の取組の様子

市職員がコーディネーターとして、会場の予約、生徒の出席状況の確認、支援員の勤務調整等の業務を行っている。



(取組の結果・効果)

昨年度は、夏季の開催が中止となったが、本年度は夏季に開催することができた。

感染症対策としては、健康観察チェックシートを作成し、毎日事前に支援員の健康状態を確認すること、支援員及び生徒全員への毎日の検温、支援員へのフェイスシールドの配布、机等の消毒、一人一席で間隔をとるなどを行った。

生徒からの意見として、支援員に分からないところを聞けるため、宿題が捗ったという意見が多かった。

また、昨年度、席が離れていることや雰囲気により、支援員に声をかけにくかったとの意見が多かったが、本年度は、支援員からの定期的な声掛けにより、質問しやすかったとの意見が昨年度より多くみられた。